

Podcast の教育利用

金沢大学 外国語教育研究センター 西嶋 愉一
yuichi@ge.kanazawa-u.ac.jp

1. はじめに

Podcast は、iPod に代表されるデジタルオーディオプレーヤーを使ってインターネットラジオを聴くための仕組みとして作られた。iPod(第4世代以降)とiTunes(4.8以降)の組み合わせがPodcastに対応したことで大きく注目され、テレビ・ラジオ局や新聞社、出版社などの大手メディアだけでなく、個人に至るまで、数多くのPodcastが配信されている。

インターネットで音声を取扱う仕組みとしては、ストリーミングによる再生、音声ファイルをWebブラウザ経由でダウンロードして再生する、といった方法があるが、Podcastを用いた場合、iTunes等のPodcastアグリゲータを使って新しいものを自動的に取り込むことができ、使い勝手が良い。一方、Podcastを作成する側も、音声をMP3化し、サーバにアップロードするだけでよいので、作るのも簡単である。

こうした特徴は、音声教材の配布など、教育のための利用にも適しているものと考えられ、内外の大学でPodcastを公開している例が見られるようになっていく。

金沢大学外国語教育研究センターでは、Podcastの特徴に着目し、外国語担当教員のためのシンプルなPodcastサーバを構築し、試験的に運用を開始した。これについてはCIEC第60回研究会でも報告したが、本稿ではその経験をもとに、Podcastの教育への利用について報告する。

2. Podcastを配信するには

Podcastを配信するには、Podcast用RSS^[1]の出力に対応したサーバが必要となる。アクセス制限が不要なら、Podcastに対応したブログのサービスを使用するのが簡単である。例えばpodcast.jp^[2]、livedoor ネットラジオ/ねとらじ^[3]、ココログ^[4]、seesaaブログ^[5]といったサービスが利用可能である。

学内のみ、あるいは特定の授業の受講者のみにアクセスを限定したい、といった要求には、自前でサーバを運用することで対応することになる。この場合、Podcastに対応したCMS(Movable Type等)を使用するか、Podcastサーバを自前で構築するか、と

いうことになる。

筆者は外国語教育での利用を主に考えていたため、多機能よりもシンプルな使い勝手を優先し、自前で構築することとした。

3. Podcastサーバ

筆者が作成したサーバは、既設のWebサーバ(Windows 2000 Server上のIIS5.0)上に構築したものである。これも既存の、授業に関する指示や補足情報を掲載するために使用していた電子掲示板システム(ASP/VBScriptで記述)をベースに、Podcast用RSSの生成機能と、音声ファイルのアップロード機能を追加して作成した。

Podcastの配信を受ける側(学生)は大部分がWindows XPを搭載したPCを使用しており、iTunes等のPodcastアグリゲータを使用して問題なくアクセスすることができる。しかし、教員の一部ではiTunesが対応できない古いバージョンのOSが使われており、簡単にはアップデートできない、という事情もあるため、こうした利用者にも対応するために、Macromedia Flashで簡易オーディオプレーヤーを作成し、Podcastで配信されるものと同一の内容に、Webブラウザからもアクセスできるようにした。

このサーバを使用してPodcastを配信するには、音声ファイル(MP3)を用意し、タイトル、説明文といった最小限のデータを入力すればよい。

さらに、Podcastに登録した音声を個別に可視・不可視に設定する機能を搭載した。例えば、授業で使用する音声を事前にひととおりサーバに置いておき、授業の進行と連動して可視に設定することができる。利用者から見れば、授業の進行とともに順次配信されてくる形のPodcastを、さほど手をかけずに作ることができる。

4. 教育への利用

Podcastを音声教材の配布に使う場合、通常のWebベースe-learning教材との対比で考えると、教材を作る側は、音声とスクリプト(あるいは説明文)を用意してサーバに送り込むだけで済むため、e-learning教材を作り込むより手軽に教材を作成

できる。一方、配信を受ける側から見た場合、Podcast はダウンロードしてから視聴する仕組みであるため、ネットワークのバンド幅に対する要求が軽く、また、ダウンロードが完了すればネットワークに接続されている必要がない。

金沢大学では、学生用のネットワークは無線 LAN を主体に構築されており、すべての教室を網羅しているわけではないため、ネットワークに接続されていないと使用できないWebベースのe-learning教材では、学習機会が限定されてしまう。Podcast を活用することにより、学習場所の自由度を増すことができる。

iTunes で Podcast を受け取る場合、更新されたものを自動的にダウンロードすることができ、未読の項目にはマークがつけられるため、どれが更新された情報かを一目で把握することができる。このような特徴を生かして教育、特に授業で活用するには、定期的に(例えば毎回の授業ごとに)更新されるものを置いておくのが有効と考えられる。現在、筆者が担当する授業で使用している音声素材を Podcast に移行する作業を進めている。

5. 音声以外の配信

既に述べた通り、Podcast はもともと音声を配布するための仕組みであるが、現在はそれ以外にも動画(MPEG-4 または H.264)、文書(PDF)、テキスト(音声を配布する際に、説明文として RSS に埋め込んでおく)といったデータを配信することができる。iPod で視聴する場合は、個々の機器が対応しているものだけが複製される(例えば、ビデオ非対応の iPod には動画はコピーされない)ため、同じ Podcast(同一の RSS)に動画・音声・文書が混在しても問題はない。

これを一歩進めれば、文書だけを配信する Podcast があっても良い、ということになる。PDF の文書を配布するには、通常は Web サーバに文書を置いて、利用者が Web ブラウザ経由でダウンロードする、という形態をとるが、Podcast を活用することにより、iTunes でまとめてダウンロードすることができ、しかも、更新されたものを取りこぼすことがない。このような形態の Podcast は、外国語教育だけでなく、さまざまな授業科目で活用することが可能であろう。

現在、iTunes はもっとも普及している RSS アプリケーションと言うことができ、同じ枠組みを使って文書配布に使うのも、教育用途には有効と考えられ

る。例えば、図1は英文法の解説を配信している例である。配信されているのはすべて PDF で、音声や動画は使用していない。

6. 今後に向けて

Podcast の利用を拡大していくのが当面の課題である。自学自習の教材を作成することも勿論必要であるが、従来、LL あるいは CALL 教室が使われてきた授業の中には、Podcast を活用して普通教室に移行できるものもあり、こうしたものを積極的に Podcast 化していくことにより、授業での活用を増やしていきたいと考えている。そのためには、音声素材のデジタル化や編集などの作業について、機器の整備や授業担当教員への支援といった活動が必要であろう。外国語以外の科目についても、PDF 文書と授業の補足情報の配布に使う形で、利用を拡大したいと考えている。

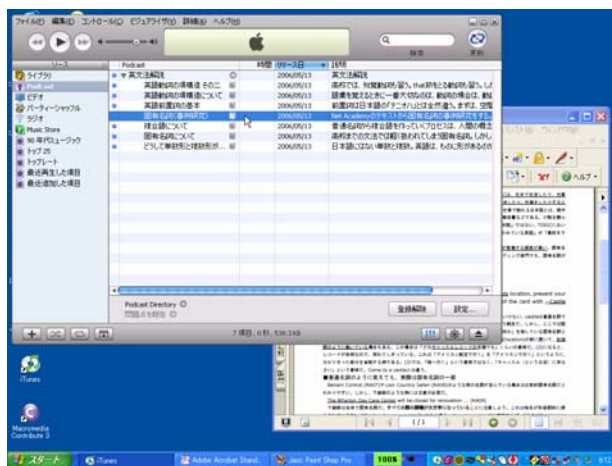


図1. 英文法解説のPodcast (配布されているのはすべてPDF文書)

References

- [1] Podcasting and iTunes: Technical Specification <http://www.apple.com/itunes/podcasts/techspecs.html>
- [2] <http://podcast.jp/>
- [3] <http://ladio.livedoor.jp/>
- [4] <http://www.cocolog-nifty.com/>
- [5] <http://blog.seesaa.jp/>